平成19年度事務事業マネジメントシート作成日 平成 点検日 平成

 作成日
 平成
 19
 年
 7
 月
 3
 日作成 5

 点検日
 平成
 19
 年
 7
 月
 5
 日作成

事務事業名 単独調理校給食設備整備事業				□ マニフェスト	関連	☑ 全庁横	断課題関連			
	政策名		4 3 3 4 1	んな元気で笑顔	質あふれるまち	づくり ア	「属部 合志市都		所属課 学校	教育課
施策名計画						所	所属係 学校給食班 学務指導班		課長名 合志	
	基本事業名			育施設の整備		担	当者名 安永恵信 安永恵信		電話番号 248 (内線)	-2102
	予算科目	会計 0 1	款	項 目 事	業	污	卡令根拠 学校			
	B									
						数年度事業は			間限定複数年度のみ	
(事業の内容) 給食用備品の購入 (業務の内容) 西南小(519千円)・・・三槽シンク、移動台、給食配膳台、移動スノコ台 西中央小(20千円)・・・スパテラスタンド 西合志東小(168千円)・・・高圧洗浄機、給食用配膳台 西合志中学校(437千円)・・・高圧洗浄機、給食用配膳台 西合志南中学校(1087千円)・・・冷凍保冷庫、フードカッター刃、ガス回転釜、他 (予算の内訳) 備品購入費								0		
									人件費計 (B) ルコスト(A)+(B)	0
1 18 19 事像 ②給 ③効	1 現状把握の部(DO) (1) 事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 18年度実績(18年度に行った主な活動) 18年度実績(18年度に行った主な活動) 19年度計画(19年度に計画している主な活動) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体 俊を記述・航要欄の業務の内容の通り ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 給食単独調理校6校 ② 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的、衛生的に調理ができる。 ② 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的、衛生的に調理ができる。 ② 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) の成果指標(対象の大きさき表す指標)数字は記入しない 単位 ア 給食単独調理校									
(2))総事業費・指	標等の	推移	16年度	17年度	18年度	ウ 19年度	20年度	21年度	22 年度
L			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(目標)	(目標)	(最終目標)
投入量	古光弗二	l支出金 7債)他 財源 · (A) ·事人数 ·時間	千円 千円 千円 千円 千円 千円 十円	0	0	0 0 0 0 2,231 2,231 5 80 318	0 0 0 2,301 2,301 5 80 318	0 0 0 2,300 2,300 5 80 318	0 0 0 2,300 2,300 5 80 318	0 0 0 2,300 2,300 5 80
L	其 人件負託 トータルコスト(千円	0	0	2,549	2,619	2,618	2,618	2,618
	活動指標	ア イ	台			9	12	10	10	10
	対象指標	ウ ア イ	校			6	6	6	6	6
	成果指標	ウ ア イ	%			100	100	100	100	100
	上位成果指標	ウ ア イ ウ	%							

合志市

所属部 合志市教育委員会

1) 事務事業の環境変化・住民意見 この事務事業を開始したきつかけ 日安心、安全な給食を児童生徒に供給	等 - は何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合するために備品の新規購入及び更新を行っている
② 調.	事務事業を取り巻く状況(対象者	や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ま費が増加してきている、また、暖冬等により、ウイルス性の病因となる細菌が増加し衛生管理対策が重要になっ
	この事務事業に対して関係者(住 食調理員・・・より安全に、衛生的に作う	:民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 業できる状態にしてほしい。
2	評価の部(SFF)*原則は事後評	価、ただし複数年度事業は途中評価
_	①政策体系との整合性	見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	▼ 結びついている ⇒【理由】 毎日、効率的、衛生的に調理ができ、安心、安全な給食を児童生徒に供給することは、学校教育の一環であり、義務教育の充実に結びつく
目的	② 公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
的妥当性評	なぜこの事業を市が行わなければな	✓ 妥当である ⇒【理由】 ⇒学校給食法に基づき実施しているので市が事業を行うのは妥当である
価	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	☑ 適切である ⇒【理由】 → 対象、意図とも現状で適当である
	④ 成果の向上余地	□ 向上余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上 が期待できないのか?	▼ 向上余地がない ⇒【理由】 現状のままでよい。現状を維持していくためのは事業の継続が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	□ 影響無 ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
有効性評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	▼ 影響有 ⇒【その内容】 → 児童生徒に給食の供給が出来なくなり 廃止、休止の影響は大である
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の	□ 他に手段がある 🗣 (具体的な手段, 事務事業)
	可能性 目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業 との統廃合ができるか?類似事業と の連携を図ることにより、成果の向 上が期待できるか?	 試験合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 (1) 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 (2) 他に類似事業はない (3) 世に手段がない ⇒【理由】 →
	⑦ 事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由】 つ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性評価	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	▼ 削減余地がない ⇒【理由】 → 衛生的また安全に給食を提供するために必要であるので削減余地はない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	削減余地がある ⇒【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 削減余地がない ⇒【理由】 → 必要最低限の業務時間であり削減余地はない
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正 化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っ ていて不公平ではないか?受益者 負担が公平・公正になっているか?	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 → 給食用設備については、市負担である。

3 評価無限の経話を含数の方向性(次年度計画と字等への反映)(PLAN) (1) 1次計価素としての計価結果 (2) 自効性	事務事業名	単独調理校給食設備	整備事業	所属部	合志市教育委員会	所属調	学校教育課
① 目的妥当性			計画と予算への反			. 反省点)	
③ 効率性			□ 見直し余地あ		, T. I.	、	
② 今後の事業の方向性(改革改善案)・・接数選択可	② 有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あ	b)			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・接数選択可	】 ③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あ	, †			
東北 「	④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	l)			
東北 「							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 4 事務事業の2次評価結果 (1) 1次評価結果 (1) 1次評価結果 (1) 1次評価結果 (1) 1次評価結果 (1) 1次評価結果 (1) 1次評価結果 (1) 1次評価を観性と出来具合 (1) 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) 「記述水準(1次評価を行った後に総合的に判断して選択) 「書報性本文したとろがある 「記述は十分なされている 「記述は十分なされている」 「書報性を欠いたところがある 「書報性を欠いたところがある」 「書報性を欠いたところがある」 「書報性を欠いたところがある」 「書報性を欠いたところがある」 「書報けを解しなった」 「書報・業の問題点、課題が認識されてない) 「一部に書報性を欠いたところがある」 「書報・課題が認識されている」 (2) 2次評価者としての評価結果 (3) 評価結果の根拠と理由 (3) 評価結果の根拠と理由 (3) 対率性 「適切 「見直し余地あり (4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 「東止」「休止」「目的再設定」「事業が焼合、速度」「事業のやり方改善(有効性改善)」 「事業をいり方改善(有効性改善)」 「事業が持合、企業による期待成果 「廃止、休止の場合は記入不要) 「現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 「現は推構・従来通りで特に改革改善をしない) 「現は推構・従来通りで特に改革改善をしない)	□ 廃止 □ 休止	□ 目的再設定	■ 事業統廃合・連携		のやり方改善(有効性の	坟善) (廃止・休止の場合は記入不要)
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 4 事務事業の2次評価結果 (1) 1次評価結果の客観性と出来員合 (1) 記述水準(1次評価的記述内容を読んだ段階で選択) 記述不足でわかりに(い)	▼ 現状維持(従来通り	で特に改革改善をしない)					向
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 4 事務事業の2次評価結果 (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 (1) 記述不足でわかりにない 一部記述不足のところがある 一部記述不足のところがある 一部記述なけ分なされている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) 一部に客観性を欠いたおり評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) 一部に客観性を欠いたところがある 「客観性を欠いたところがある 「客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) (2) 2次評価者としての評価結果 (1) 目的妥当性 「適切 「見直し余地あり (2) 有効性 「適切 「見直し余地あり (3) 新価結果の根拠と理由 (4) 今後の事業の方向性(改革改善業)・・・・複数選択可 「廃止」「休止 「目的再設定 事業就底合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) 「事業のやり方改善(効性改善) 「事業のやり方改善(効性改善) 「事業のやり方改善(公平性改善) 「事業のやり方改善(公平性改善) 「別が維持、従来通りで特に改革改善者としない) 「前漢 推行 協加 」 「現 推行 協加 」 「現 推行 協加 」 「別							成維
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 4. 事務事業の2次評価結果 (1) 1次評価結果の名戦性と出来具合 (1) 記述不足でわかりにくい 一部記述不足のところがある 「記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) 「会観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) 一部に客観性を欠いたところがある 「客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) 「のまるとしての評価結果 (1) 目的妥当性 「適切 「見直し余地あり (2) 2次評価者としての評価結果 (3) 評価結果の根拠と理由 (1) 目的妥当性 「適切 「見直し余地あり (3) 効率性 「適切 「見直し余地あり (4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・複数選択可 「原止 「休止 「目的再設定 「事業があら・連携 「事業のやり方改善(有効性改善) 「廃止・休止の場合は記入不要) 「事業のやり方改善(効率性改善) 「事業のやり方改善(公平性改善) 「現状維持(従来通りで特に改革改善表しない)							果 持
4 事務事業の2次評価結果							
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	(5) 改革, 改善を実現 	する上で解決すべき課	!題(壁)とその解決領	ŧ			
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合							
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) □記述不足でわかりに(い) □部記述不足のところがある □記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) □客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) □部に客観性を欠いたところがある 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) ② 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 適切 見直し余地あり ② 有効性 適切 見直し余地あり ② 有効性 適切 見直し余地あり ④ 公平性 適切 見直し余地あり ④ 公平性 適切 見直し余地あり ④ 以平性 河切 見直し余地あり ④ 以平性 京教・改善による期待成果 「廃止・休止の場合は記入不要) □ 本業のやり方改善(公平性改善) コスト 「削減 維持 増加 自り 日が上 日が上							
□ 一部記述不足のところがある □ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) □ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) □ 一部に客観性を欠いたところがある □ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) ② 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 □ 適切 □ 見直し余地あり ② 有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ③ 効率性 □ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり ■ 東郷の方向性(改革改善案)・・複数選択可 □ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			だ段階で選択)				
 ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)							
□ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) □ 一部に客観性を欠いたところがある □ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) (2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 □ 適切 □ 見直し余地あり ② 有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり ■ 東北院舎・連携 □ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ は □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ 記述は十分	なされている					
□ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) (2) 2次評価者としての評価結果	□ 客観性を欠	いており評価が偏ってい	いる(事務事業の問題		夏が認識されてない)		
(2) 2次評価者としての評価結果	□ 客観的な評	価となっている(事務事		が認識され	している)		
② 有効性 適切 見直し余地あり ④ 公平性 適切 見直し余地あり (4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 事業が廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) 原止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) コスト 前減 維持 増加 向 反機	(2) 2次評価者として(の評価結果		(3)評価結果の根拠と	:理由	
③ 効率性 □ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり (4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 □ 除止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 原止 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	① 目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あ	Ŋ			
④ 公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり (4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) (5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) □ プスト 削減 維持 増加 向	② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あ	<i>y</i>			
(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あ	b			
□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 成維 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あ	Ŋ			
□ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 別状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				□事業の	のやり方改善(有効性)	女善) (
	事業のやり方改善(効率性改善 🔲 事業					^ コスト
低 下 × ×	St Dent 14 (Desirate)	CINITATA BEOMY					
低 下 × ×							成維
							低
、(v) (v) (。) (。) () () () () () () () ((6) その他2次証価会	:議で指摘され <i>た</i> 車佰					
		成で同間でからず次					
	(4) 今後の事業の方同 原止 休止 事業のやり方改善(注 現状維持(従来通り)	句性(改革改善案)・・・・ □ 目的再設定 『 効率性改善) □ 事業 で特に改革改善をしない)	复数選択可 事業統廃合•連携	□事業の	のやり方改善(有効性は	坟善) (廃止・休止の場合は記入不要)